

# 稚内から石垣まで、地域の資源・特性を活かした全国都市再生の進展

## 室蘭市 ～「ものづくりのまち」の基盤を活かした環境産業拠点都市形成

製鉄所やセメント工場等の産業基盤を活かした**廃タイヤ・廃プラスチック等のリサイクル産業**、風力発電等の**新エネルギー産業**の創出や、ごみ堆肥化等に取り組む**エコ商店街事業**の展開により、地域活性化と循環型社会構築のモデルを目指す

【地球温暖化・ヒートアイランド対策モデル地域】

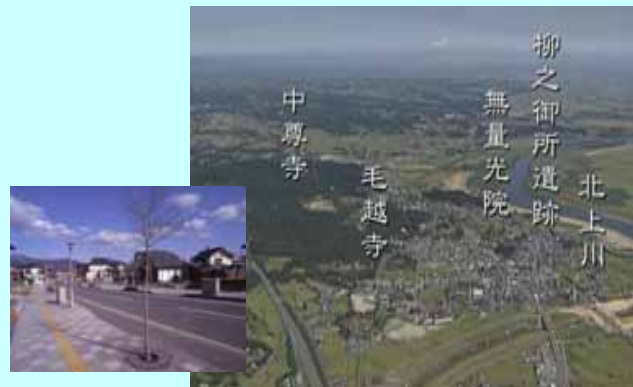
廃タイヤ等を原燃料利用するセメントキルン



17年度全国都市再生モデル調査で、主要工場の新たな取り組みをまちづくりに波及させ、地域全体の元気をとりもどす方策を検討

## 平泉町～世界遺産登録に向けた景観と歴史のまちづくり

「庭園文化都市構想」を策定。本年1月に「平泉の自然と歴史を生かしたまちづくり景観条例」を施行。地域のまちづくり資産の指定などを位置づけ。



15年度全国都市再生モデル調査実施

## 古川市～食産業の起業家支援による経済再生

市内の「食」の情報発信と「食」に関する起業支援のためにホームページ「**うめえもの**」を本年3月に開設。起業家のための研修や「食」をテーマとしたイベントを連続的に開催。



フードビジネス起業家支援の掲示板ページ

15年度全国都市再生モデル調査実施

## 桜川市(旧真壁町)～「歓交地」を目指したまちづくり

江戸期からの商家の街並みと約200棟の土蔵等が残る地区で、都市計画道路の見直し、交通ルール、修景の基準等を官民連携で検討。蔵を活用したイベント等に発展。**まちづくり交付金**を活用し真壁城趾の整備を進展。本年3月には、「歴史的たたずまいを継承したまちづくり」として**地域再生計画**の認定を取得。



「蔵のコンサート」

15年度全国都市再生モデル調査実施

## 太田市～中心市街地の活性化と多様な住民の協働によるまちづくり

中心市街地で、『くらっせ・おおた』のキャッチフレーズの下、まちなか居住や**市民**、**世代間**、**地域間**、**国際**などの多様な人々の交流を推進。

交流館では、NPOが主催する朝市、子供英会話教室、まちなかキャンプなど、まちを元気にする市民交流活動を展開。



15年度全国都市再生モデル調査実施



# 稚内から石垣まで、地域の資源・特性を活かした全国都市再生の進展

## 藤井寺市 ～ 遣唐留学生の墓誌発見を契機とする歴史観光と中国(西安)との交流

昨年、中国・西安で、藤井寺出身といわれる遣唐留学生・井真成(いのまなり)の墓誌を発見。市民等による研究会が発足、中国の博物館に「里帰り」を要請。愛・地球博や国立博物館での展示を経て、12月の藤井寺での「里帰り展」に発展。これを機に、歴史的資源を活かした都市観光や日中交流を展開。



「井真成」里帰り行列



井真成の墓誌  
(中国・西北大学文博学院 蔵)

17年度全国都市再生モデル調査実施

## 広島市 ～ 水辺を活かした賑わいの創出

「水の都ひろしま」の実現に向けた賑わいづくりの一環として、河川沿い空間を活用した民営のオープンカフェ出店者を公募。本年10月に牡蠣料理店など4店が開設。



15年度全国都市再生モデル調査実施

## 下関市 ～ 海峡と歴史を活かした観光まちづくり

豊かな自然や食文化、歴史的建造物に加え、ウォーターフロント開発による新水族館等の施設整備が進展。海峡と歴史を活かした『下関パノラマ構想』を策定。まちづくり交付金を活用し、景観整備やロープウェイの再開実験を展開。

まちづくり交付金の提案事業により、ロープウェイ再開実験を支援  
H17.10～11の利用者 20,169人 (運休前3ヵ年平均 +31%)

運転再開実験  
H17.10.1-11.30  
H18.3(予定) (H15.4から運休)



15年度全国都市再生モデル調査実施

## 須崎市 ～ 太陽と森の恵みを活かしたクリーンエネルギータウン

年間日照時間全国2位、森林面積率全国1位という特性を活かし、太陽光発電・バイオマス発電を大規模に導入。地震津波の避難道路について、防災の観点から太陽光発電・風力発電を活用した街灯・避難誘導灯を整備予定。

【地球温暖化・ヒートアイランド対策モデル地域】

今後、廃棄物処分場内での増設を始め、市役所の屋上など市内各所に3年間で合計1000kW分(一般家庭300軒分に相当)のソーラーパネルを設置



17年度全国都市再生モデル調査で、太陽と森の恵みを活かしたクリーンエネルギー活用によるまちづくりを更に加速。